ひだまりの家通信

vol.114
2025.6.16発行

良質な介護サービスの提供をめざして。

お誕生日おめでとう

M・I・さん
昭和16年5月5日生（84歳）

「みんなでお祝いしてくれてありがとう」ご家族からのプレゼントを手に少しはにかむ伊藤さん。「男の端午の節句の日だからね」にスタッフは「子どもの日だものめでたいでしょう」。

M・K・さん
昭和15年5月19日生（85歳）

ひだまりの家にきて4回目の誕生会。ご家族からのプレゼントを手にうれしそう。「何歳になったっけ」「ええ、もうそんなになる～」いつも明るい笑顔で接してくれます。

5月11日㊐ 母の日

コロナでの影響で面会制限されている現在、スタッフみんなでささやかな「母の日」のお祝いをしました。ご家族に代わって「おかあさんありがとう」そう伝えました。

新入居者様紹介

F・T・さん（75歳）

お住まいは登別市片倉町、とっても明るくきさくな性格、スタッフとの会話も楽しくなります。「若い時いろいろやったよ。たいへんだったこともいっぱい」でも、そんな苦労は感じさせません。加藤顧問と昔、若い時代の話に華を咲かせました。

グループホームひだまりの家 2005（平成17）4月OPEN 創設20周年

前年10月、槌音が響き渡り、浚渫工事が始まりました。

市内5番目のグループホームとして誕生。オープンを前に内覧会、祝賀セレモニー開催。

今月のディスプレー 5月

昔「五月のバラ」という歌がありましたが、狭き玄関にパッと明るさを感じさせてくれます。

シリーズ22 職員スタッフ 私の趣味・特技

佐々木 珠乃
総務・事務職

夏の訪れか、難しいな、
う～ん どれがいいかしら

令和6年3月勤務

「ひだまりの家の顔」ともいえる玄関のデイスプレー、前オーナ加藤栄吉様の奥様であるホーム長が、これまで18年の長きに渡り担当されてきました。その後任を指名され正直戸惑いました。もともと飾り付けや装飾など好きな方でしたので、プレシャーを感じつつも見様見真似、工夫をこらしながらやっています。
ホーム長が言っていたいかに季節感を出すか、華美にならないか。何よりも入居者様はじめ出入りする方に元気を、そして心温まる思いを抱いていただけるか、それを意識してやっております。お起こしの節は是非ご覧なってください。

【仕事への抱負・意気込み】

入社して早や一年半が経ちました。試行錯誤の連続で何とかこられました。一番は入居者様の笑顔、そして、ご家族様、スタッフの皆さんの支えがあったからこそです。仕事には正確に、きめ細かく、誠心誠意、心掛け、日々業務に励んでおります。これからも思いやり、気遣い、向上心をもって、真摯に取り組んでいきたいと思っています。

新スタッフ紹介

さあ、3時おやつの時間ですよ。
コーヒーブレイクしましょう!

久末　里美
パート職

これまで病院看護助手、デイサービスの仕事に就いていました。ゆっくり時間が流れるグループホームの良さを実感し、入居者様のケアにあたっています。趣味はカラオケで発散することです。

初夏の訪れ

今年もまたひだまりの家の坂の電柱にコムクドリが巣造りにやってきました。
この巣の穴に一日何十回と雛に餌を運んで飛んできます。
巣立っても、暫くは親子で電線に停まって飛行練習を繰り返します。

電線に停まって巣立ち予行練習、飛行訓練

電柱の穴に巣作りを

「一つづつ花の
夜明けのはなみずき」
（加藤楸邨）俳句に謳われ
桜の開花した後、ひだまりの家の
南斜面に咲くハナミズキ